

北海道農業の発展及び地域社会への 一層の貢献に向け、JAバンク北海道が サポート事業を展開!!



一般社団法人JAバンク北海道サポート基金

専務理事 春日茂樹

一・設立と目的

平成二六年、北海道信連は北海道農業を支援する金融機能の強化に向け、「JAバンク北海道サポート事業」を新たに実施していくこととし、同年三月にその運営主体として「一般社団法人JAバンク北海道サポート基金」を設立しました。事業の具体的な内容は後ほどお示しますが、文字通りJAバンク北海道として農業及び地域社会へ一層のサポート機能を発揮していくことを目的としています。

ご承知の通り、北海道農業を巡る情勢は様々な課題を抱えています。その解決に向け農業・地域をサポートする各種の組織・団体を通じた取組みも積極的に展開されていますが、当組織は「JAバンク北海道」即ち道内JAの信用事業の側面から役割発揮していくことが重要であるとの考えにたち、北海道信連の基金拠

出をもって設立された経過にあります。

したがってJAバンク北海道の事業展開と密接な連携をとりながら事業に取組んでいるところです。信用事業は『血液』であり組合員・JAの活動に不可欠なものと言えます。このことは、ひと口に「信用事業面のサポート」と言っても、様々な活動と関連するため、いろいろな取組みが考えられます。

従来からJAは貯金・貸出等を通じて農業・地域社会の維持・発展に向け取り組んでいますが、こうした取組みを更に充実していくためにJAの農業貸出金に対する利子助成をはじめ各種の支援活動を展開しているところです。

二．組織体制

設立の趣旨を踏まえ、北海道信連経営管理委員会会長・北海道信連理事長・道内JA組合長二名の計二三名を社員と

し、北海道信連会長を代表理事とする理事五名（うち常勤一名）・監事二名、従業員若干名とする体制により、道内JA・JAバンク北海道の意見を反映したなかで実効性のある取組みが図られるよう運営しています。

また、様々な課題解決に向け調査・研究に取組むに当たり、坂下明彦北海道大学大学院教授を顧問にむかえ意見交換等を行いながら進めています。

住所は、札幌市豊平区福住一条四丁目一三番一三号

三．事業の内容

「JAバンク北海道サポート事業」は、現在の次の五つの事業を柱として取り組んでいます。

(一) 利子助成事業（農業資金）

JAバンク北海道から融資を受けたJ

A組合員に対し借入金の一部助成を行うことで借入負担の軽減を図り、農業経営を後押しするために以下の借入金に対し利子助成を行っています。

① 農業者が農業経営に必要な投資をする際の借入金

② 農業後継者が親子間継承により承継した親の農業施設等取得にかかる借入金

③ 農業法人設立時に法人が承継した農業者の農業施設等取得にかかる借入金

④ 六次産業化に取組む際の借入金

⑤ 再生可能エネルギー施設を導入する際の借入金

JA組合員が必要とする資金に対しては、大きく分類すると、日本政策公庫資金を始めとする制度資金とJAプロパー資金があります。制度資金は国等が定める条件や融資枠等があります。

一方、JAプロパー資金はJAが独自

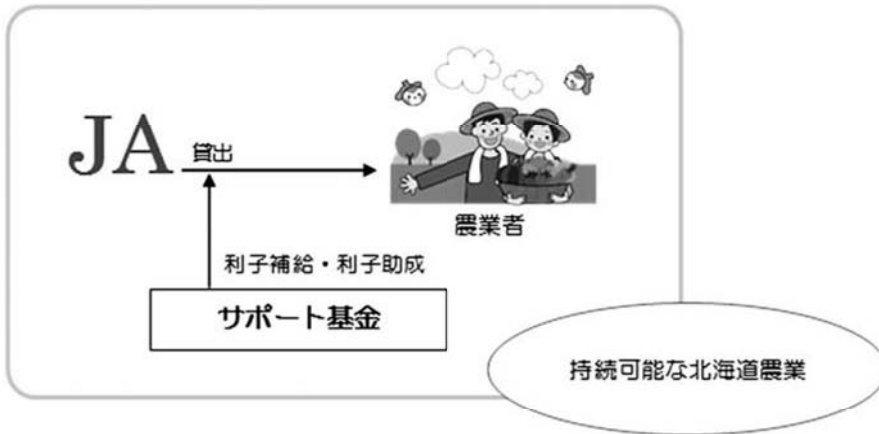
に条件等を定めるため組合員のニーズに対して機動性が発揮できるなどの利点があります。JAは内容に応じ、組合員の経営向上に資するようコーディネートしながら融資を行っています。

現在、JAプロパー資金に対する利子助成は、サポート基金の他に農林中金等でも行っていますが、利子助成の対象資金も異なっており、道内での様々なニーズに対応するよう努めています。

これまでに、

- ・平成二六年分として七一九件 四〇億一八百万円

- ・平成二七年分としては、平成二六年の対象残高に加え、平成二七年融資実行案件九三七件・六一億二六百万円を対象として利子助成を実施しており、施設投資・乳牛導入を始め、後継者・法人が必要とする資金などにその活用が図られています。



利子助成仕組み図



利子助成対象事業

(二) 利子助成事業（住宅ローン）

環境に配慮した地域社会の実現のため、組合員（准組合員含む）の省エネ住宅取得資金および省エネ改修する際のJA住宅ローンに対する利子助成を行っています。

これまでに、

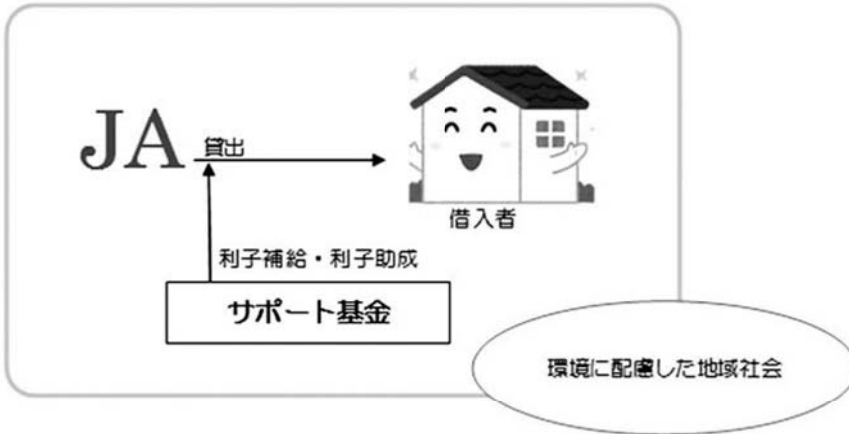
・平成二六年分として六九八件 一二五億五百万円

・平成二七年分としては、平成二六年に対象とした案件の残高に加えて、平成二七年融資実行案件七〇六件・一三三億一百万円を対象として利子助成を実施しています。

(三) 人材育成支援・農業振興事業

農業金融機能強化のため人材育成に係る支援や農業振興のための取組みに対する支援を行っています。

現在実施している内容は以下の通りで



利子助成仕組み図



セミナー

す。

①「JAバンク農業金融プランナー」の資格取得促進等に対する助成

②JAバンク北海道が主催する農業者向けセミナー等の開催費用に対する助成

③JAバンク北海道等が主催する商談会への参加費用に対する助成

それぞれのこれまでの実績は、①の「JAバンク農業金融プランナー」の資格取得促進等に係るものとして、二六年一八六名、二七年一五〇名、延べ三三六名についてその受験料や合格者に対し助成を実施しています。

また②の「農業者向けセミナー等」については、JAバンク北海道主催の農経営フォーラムや勉強会等が、札幌など道内数地区で開催されており、その費用の一部を助成しています。

③の「商談会」については、国内農畜産物の取扱拡充に向け、JAバンク北海

道または農林中金等が支援する商談会が国内及び海外で開催されており、参加費用の一部を助成しています。

(四) 地域貢献活動事業

JAバンク北海道が行う環境活動や地域貢献活動への支援を通じて、JAバンクブランドイメージや認知度向上に取組むとともに、豊かな地域社会の実現に寄与するよう取り組んでいます。

これまで、AED（自動体外式除細動器）を道内主要駅・社会福祉協議会へ寄贈しており、二六年度～二七年度の二年间で累計一八台寄贈しています。

(五) 農業金融調査研究事業

JA信用事業を取り巻く環境変化を踏まえ、地域や生産現場で起きている状況を的確に把握し、有効に事業を組み立てていくために関係機関とも連携をとりながら次の取組みをしています。



地域貢献活動

① 北海道における農業担い手が抱える経営課題や要望等の調査・研究

② 農業に関連した講演会、セミナー等への参加による情報収集

③ 北海道農業に関する各種データの収集と蓄積

これらの調査・研究は、地域やJAでの取組事例や各種情報収集活動等を通じて行っていますが、後継者・新規就農者など農業担い手に係る諸課題や地域におけるJAの存在意義・信用事業の重要性といったものが、今日的な深い課題として、改めて浮かびあがっている状況となっています。

調査・研究活動を通じてJAバンク北海道が一層のサポート機能を発揮するために、北海道信連をはじめ大学や北海道地域農業研究所など関係各機関と連携をとりながら進めているところです。

四．今後について

当組織が設立されてから約二年経ちますが、今後必要な見直しを行いながら進めていくこととしています。

昨年十一月にJA北海道大会が開催され、「協同の力で『農業所得の二〇%増大』と『新規担い手倍増』を実現」そして「食と農を通じて北海道五五〇万人と『つながり』を実現」、この二つの基本目標が確認されています。

また当組織の基金拠出元となっている北海道信連の第二中期経営計画において、「北海道農業の振興」「JA信用事業基盤拡大と地域活性化」「JA経営管理態勢の強化」「会員への安定還元と内部留保の積み上げによる自己資本充実」この四項目を重点事項と定め事業展開していくこととしています。

当組織の事業活動は、右に掲げる基本目標・北海道信連の重点事項と一体的に

取組んでこそ、実効性のあるサポート機能を発揮できるものと考えています。

今後ともいろいろなご意見も聞かせていただきながら、負託に応えるよう進めていく所存です。

